

おいでよ！ まちの図書館へ

●休館(室)日

(香我美・野市図書館) 毎月の月曜日・第2木曜日・祝日・24日
(夜須図書館) 祝日のみ (吉川図書館) 土・日・祝日

新着案内 香我美図書館より ☎55-0022

- 《大人向け》
- ◆6TEEN 石田衣良/著
 - ◆静かにしなさい、でないと 朝倉かすみ/著
 - ◆悪霊の島(上・下) スティーヴン・キング/著
 - ◆ワードローブと日用品 後藤由紀子/著
 - ◆武田双雲戦国武将を書く 武田双雲/著
 - ◆100回いったてしょ！ ガブリエラ・ケセルマン/文
クラウディア・ラヌッチ/絵
 - ◆点子ちゃん 野田道子/作
 - ◆カボちゃんのふでばこ 高山栄子/作
- 《子ども向け》

『神様のカルテ』 夏川草介/著

舞台は信州にある一般病院、主人公は夏目漱石を敬愛し、ハルさん(妻)を愛する青年医師・栗原一止。常に医師不足のため、専門外の診療も日常茶飯事な栗原に母校の医局から誘いの声がかかります。医局に行けば、最新の医療も学べるし、休みも増える…。

そんな栗原の背中を押したのは高齢の癌患者の安曇さんからの思いがけない贈り物でした。作者が実際に地域医療に従事しているお医者さんなので、現代医療の問題点の核心にも触れつつ、特別な知識がなくても読みやすく描かれています。こんなお医者さんにかかりたいと思わせる1冊です。読んだ後は気持ちがあっけりと温かくなること間違いなし！です。

新着図書より
Pick up!



おはなしの会「なんじゃもんじゃ」を手伝っていただけるボランティアさんを随時募集しています！興味のある人は、香我美図書館までご連絡ください。

『おもひで屋』 上杉那郎/著

甲子園出場の道を絶たれ、同時に母を失った素晴。失意と絶望の中に届いた「思い出チケット」を手、彼は19年前の世界に向かった。父の甲子園への夢を叶えるため、そして列車事故にあう母を助けるために…。

Pick up!



11月15日は坂本龍馬の誕生日でもありません

来年は大河ドラマや龍馬博など、高知県を全国に売り出す大チャンス！



あんなちゃん！小雪が大変だっ！

図書案内 吉川図書館より ☎55-0525

- 《大人向け》
- ◆すきな人に愛されるノート 心理カウンセラー 植西 聡/著
 - ◆冷凍保存で節約レシピ 夏梅美智子/著
 - ◆プロゴルファー 石川 遼 井上兼行/文
 - ◆犬に本を読んであげたことある？ 今西乃子/著
 - ◆おもしろランキングとクイズ 100 理科のふしぎ調査隊/編
- 《子ども向け》

野市

絵本読み聞かせ：14日・28日(土)
おはなしの会：4日・18日(水)

香我美

なんじゃもんじゃ：14日・28日(土)
プチなんじゃもんじゃ：21日(土)

小さい秋
見つけた♪

こじゃんと!こうなん! ②0

香南市を「こじゃんと」紹介する
「香南市観光協会」のコーナーです

ONAI city
海山 観光協会
☎56-5200

内村

「秋と言えば…城山公園の懸崖菊」

すっかり秋も深まり、紅葉の季節となりましたね。香我美町山北の城山公園では、今月中旬「懸崖菊」の見ごろを迎えます。山全体が色とりどりの花で染まり何とも感動的な景色です。公園には、2棟の東屋が地元ボランティアさんにより建てられ、休憩場所として活躍しています。



昨年の城山公園の様子

城山公園へのアクセス(高知市方面からの場合)

国道55号赤岡町横町の信号(サンシャイン香南を過ぎた次の信号)を左折→香宗川に沿ってひたすら直進→つきあたりの三叉路を右折(看板あり)→J A 山北官農センター前を左折(看板あり)→広場に駐車し、徒歩150mのところには、キクやケイトウの花が盛り一面咲き誇ります！(11月いっぱい観覧可能)

「冬の夏祭り」こたつ布団募集!!!

今年も12月5日(土)・6日(日)、赤岡町横町の商店街で「第15回冬の夏祭り」が開催されます。今年のテーマは「Bon jour AKAOKA」に決定しました。斬新なアイデア盛りだくさんのイベントとなること間違いなしの「冬夏」ですが…毎年変わらない光景として、商店街に「こたつ」が並びます。昨年は「こたつ」の大募集をかけ、5個のこたつをいただきましたが、今年は「こたつ布団」のみを募集します。年々、汚れてしまったり、破れたり…そこで、ご家庭で不要になりました「こたつ布団」をお譲りいただければ、実行委員会で大事に活用させていただきます。皆さまのご協力を心からお待ちしています。



路上にこたつが！

■連絡先 市観光協会 ☎56-5200

出店者を募集しています!

- 条件:市在住の人
- 出店料:1コマ2,500円(1日のみ、2日間とも一律) ※1コマ…約6.6㎡
- 申込み・問い合わせ 冬の夏祭り実行グループ(間城) ☎55-3468 または 市観光協会

文芸

やす短歌にしたしむ会

吹く風に季を告げきし木立より蝉しぐれ消ゆ朝明けの空 清藤 幸男
遙かなる機影は関空めさずのかきび探る手を止め汗をぬぐえり 吉田美和子
今日ひと日幸せだったと思う夜は心の苦み少し薄れる 内田 道子
短歌を愛しシャイに会話の弾みいる二人の余生まぶしみており 野島 綾子
「ただ今」と走りくる児が持つ絵には敬老翁の髪黒くろと 浜田 勝久
踏み台のあやうきに乗る物を取る二歳の酉年うべないており 嶋崎 和子

のぞみ会

秩序もて宇宙よ回れ今日観たる日食次会は二六年後といふ 松尾 澄
日除けにと窓辺に植えし苦瓜の花咲き初めぬ遅き梅雨あけ 山本 房子
花蘇鉄遠く見える無人駅潮騒聞きつつ電車待ちをり 河野とみえ
その昔バスの時間を気にしつつ走って下りし道のいとしき 池田 倫子
草燃ゆる煙の中にさまざまの古き想ひ出匂ひ懐かし 近森万鎖子
孫の手を借りて湿布す臥せし身の家族のぬくもりしみじみ想ふ 石原 幸子
もずの高啼き聞きたる朝この夏を逝かしめし事の悔いと安堵と 嶋田 清子
口数の少き夕餉扇風機の風にゆれる皿のレタスが 近森 邦子